

やんばる野生生物保護センター「ウフギー自然館」 活動報告

◆◆子供のための環境映画祭◆◆

やんばる自然体験活動協議会（国頭村・大宜味村・東村・沖縄県・環境省で構成）主催、国頭村環境教育センターやんばる学びの森の協力による「子供のための環境映画祭」が10月1日（金）午後7時～午後8時まで、ウフギー自然館のゆんたくスペースで開催され、国頭村、大宜味村、東村から35名が参加しました。今回上映した映像DVDは、アース・ビジョンが映像を通して、地球環境を考えるきっかけになる場を作ることが目的で作られたものです。恵まれた自然の中で暮らしているやんばるの子供たちが、アジアの国の環境問題を取り上げた映像から身近な環境問題の現状に気づくきっかけになればと開催したものです。

今回の映画祭では、

- 1、虫や動物との共生をコミカルに描いたアニメーション「やっかいばらい」。
 - 2、人工物の家を背負っている台湾のヤドカリの現状をドキュメンタリーにまとめた「プラスチックの家のヤドカリ」。
 - 3、空を旅する巨大ウミガメの背中に住むサルたちが乱開発を始めウミガメを傷つけてしまう。アニメーション「タートルワールド」。
 - 4、地球上にいる様々な動物たちと人間の1日を照らし合わせてみる「地球の一日」
- の四つを上映しました。

当初、野外のウフギー自然館中庭での上映を予定していましたが、雨のため、ゆんたくスペースに変更、あいにくの雨にもかかわらずたくさんの親子が参加してくれ、一時間余りにわたり映画を楽しみました。東村から参加した藤井さん親子は「とてもすばらしい映画でした。子ども達の環境教育のためにもぜひ学校で上映してほしい。」と話していました。

写真①



写真②



映画祭は国頭村環境教育センターやんばる学びの森の代表理事、山川安雄氏にご協力をいただき、ウフギー自然館で開催するはこびとなりました。写真①

会場の様子。写真②

やんばる自然保護官事務所のアクティブレジャー倉持さんから「生物多様性」について話を聞きました。写真③

写真③

